

平和と戦争

読谷小学校

六年一組

野原

妃環

七十六年前、二十万人のあおせいの人かな  
くなる戦争がありました。

千九百四十五年の四月に、アメリカ軍が上  
陸しました。ガマに避難した住民は、「チビ  
チリガマ」に約百四十人の住民が避難してい  
ました。日本兵がら、米軍に捕ま、たら殺  
される」と聞き恐怖心から家族や親せき同士  
で殺し合う「集団自決」にまよひ追いこまぬた

のこす。「チビチリガマ」でなくな、た八十  
三人のうち十五歳以下の子どもが四十五人と  
、半数をこえる子どもがなくなりました。当

時の軍国主義は、住民にとこも大きな影響を

あたえました。ガマを出た住民が、米軍に日  
本兵たと見まちがえられ射殺されたことこ、  
住民たろは子どもや孫に手をかけなければな

らないとおいこまれたのこす。「シムクガマ  
」こは、当時千人ほどの人が避難していまし

た。「シムクガマ」は「集団自決」は行ぬれま

せんてした。ハワイ帰りの男性が、「米軍は  
住民を殺さない」と説得し、米軍の収容所に  
送られたそうです。

戦争は、人がいなくなり、たまたま、たか  
さんの命がうばわれるものな人だと思いま  
した。なぜなら、戦争がおきなければ、千  
七、チリかコレであつた家族や親せき同士での  
「集団自決」も、住民にあつた恐怖などもな  
く、たかさんの子どもがなくなる必要もな  
かつたからです。戦争がなければ、二十万人も

の人の命がなくならば、今も生きていたかも  
しれません。だから、戦争は、あらそいごと  
などは、けしてくりかえさぬてはいけないも  
ののです。

今、戦争のおそろしさや出来事などを、話  
し伝える、活動などがあり、今の子どもたち  
が、戦争のおそろしさや戦争はとうゆうもの  
かを伝える業事があります。その活動で、戦  
争はおきてはいけないものだし、人なが、理  
かいし合える人だと分かりました。

今回の授業で作文を書いて、私は、あらた  
めて、戦争があらそいごとを分けしておこして  
はいけないものだと思います。戦争がおこ  
ること、自分の大切なものがなくなったり  
あえなくなったりします。私は、戦争と平和  
は、真逆で、戦争がおこってほしい人なんて  
いるはずはないのではありません。私  
は、私は、大切なものがなくなったり、大  
くの人たちが、幸せな平和が大好きだと思  
いました。